

開智全校研修 time line 9:00から
 @開智高等学校 東岩槻

| | 活動の流れ | 発問・指示 | 形態 | WN, 資料・道具 | 所要時間 | 累積時間 | 留意点など | メモ |
|----|--|---|-----------------------|--|---|------|---|------------|
| 1 | はじめの挨拶と活動概要説明 | 今日の研修の狙いは、秋から「学び合い」の授業を始めるために、 ○ 人が仲間と学び合う協調的な学習活動の利点、活用の仕方を、 ○ 先生方が「生徒になって(生徒の視点から)」体験することによって ○ 人の認知活動の原理原則に立ち戻って「いつ」「どう」使えるかを理解し ○ 実際に秋から活用できる授業プランを検討すること やり方の基本は、ジグソー法です(図で説明) | 全体 | WN1 事前 狙いと、ジグソーの図 名前書かず 持ち帰り可 | 5分 9:00-9:05 | 5 | 座席は、最初一緒に来た人たちが固まって座っても大丈夫 | 撮影許諾書は開始前に |
| 2 | 協調活動再考への導入 | 収斂か拡散かで問題設定 Pre | 全体 | WN2 | 15分 9:05-9:20 | 20 | 5分ほど書いてもらって、話し合い誘導 話し合うグループは2人でも3人でも 近場で話しやすそうな人相手に | |
| 3 | HOWDY Figureの4課題に分かれて課題を経験、そこに潜む認知過程を探り当てる | ・はじめは「認知心理学入門」です。課題を使って、人がものを覚えたり、問題を解いたりするときの特徴をつかみたいと思います。 ・4つの課題の一つを担当して、グループで一緒に、一枚ずつ、何をやるのか確認しながらやってみてください。 | 第一段目のエキスパート活動 | WN3はメモ用紙作業開始と同じタイミングで 資料はWN4, 5, 6, 7 | 30分 (最初の3G5分 課題に15分 これ何?に10分) 9:20-9:50 | 50 | | |
| 4 | HOWDY Figure4課題をJigsaw | 担当課題一つから一人ずつ集まってそこでわかったことを後で他のグループの人に伝えてもらいます。 一課題5分くらいで。 最後でグループ全員で一緒にプロジェクト課題に答えを出します。 [ジグソーグループは14グループくらいになる予定] | 第一段目のジグソー 途中スキーマ誘導 | 聞き取りメモ WN8 スキーマ導入 WN9 プロジェクトCM WN10 | 45分 9:55-10:35 ジグソー20分、スキーマ読み5分、QA型プロジェクト20分 | 95 | WN10(A3サイズ)で「5分で読めるスキーマ」 Guidede 概念地図作成 | |
| 5 | 休憩 | | | | 10分 10:35-10:45 | 105 | | |
| 6 | HOWDY Calc の曜日計算と水がめで第二段階目のエキスパート活動 | ・各分野4人が2グループに分かれてください。 ・同じグループから分かれてきた2人が一組でいいです。 ・グループにわかれて、別の計算問題をやります。さっきと違って同じような問題を何題か繰り返し解いていただきます。練習問題ですね。 ・今度は、練習する間に自分たちの解き方がどう変わるかにも気を配って、後で別の課題をやっている人に自分の経験を説明できるようにして下さい。計算問題ですが、二人で相談しながらやして下さい。 | 第二段目のエキスパート活動 | 読み取りメモ WN11 資料12, 13 | 30分 10:45-11:15 | 145 | | |
| 7 | HOWDY Calc 2課題でJigsaw | ジグソーグループは全部シャッフル4人組。新しい番号札が必要。 | 第二段目のジグソー | 聞き取りメモ WN14 | 30分 11:15-12:00 | 175 | グループでの話が早めに修練するようならクロス・トークを2, 3グループから | |
| 8 | HOWDY Calc 2課題でProject | 人が練習問題を繰り返すと、何ができるようになるのかについて、Figure4課題+Calc2課題の結果をまとめて「スキーマの功罪と協調活動の意義」についてポスター作成 | 両方あわせてのプロジェクト | WN15 概念整理Q WN16 ポスター構想用紙 | 30分 12:00-12:30 | 205 | KOWA writingシート 一巻で足りる 余分な紙、マーカなど | |
| 10 | 昼休み休憩 | 午前中ジグソー観察Q 昼休み ポスターは貼っておけると良い | | WN17 | 50分 12:30-13:20 | 255 | WN17は昼休み後入り口でも回収 | |

| | 活動の流れ | 発問・指示 | 形態 | WN, 資料・道具 | 所要時間 | 累積時間 | 留意点など | メモ |
|----|-------------------------|--|------------------|---|--|------|---|----|
| 11 | 協調活動再考への導入 | 午後は協調活動の仕組み ポスター振り返って、「人の認知活動の基盤になっている知識はスキーマ;自分で作るもの。練習すると自然にある程度できるが、意識しないとわからない。なんでもそれで解こうとすると足を引っ張られるから、見直す必要がある。」だから、協調、と行くのですけれど、協調過程はこういう人の特徴に対してどんな働きをするのでしょうか? | フリー・トーク | | 15分 13:20-13:35 | 270 | | |
| 12 | 折り紙課題とその解説 | <ul style="list-style-type: none"> ・折り紙課題「3分の2の4分の3」を個人でやって ・次に「4分の3の3分の2」をやって下さい ・この計算、みんなどんな風にやると思いますか? ・1回目と2回目のやり方、変わりましたか? ・実験だと、こんな風になります ・なぜ一人だと変わらないのでしょうか? ・なぜ二人だと変わるのでしょうか? ・プロトコル(かビデオ)みて、感想を ・解説 二人だとこういうことが起きます ・「協調活動の仕組みと意義」作文 したいけど、止めよう | 講義・討論 解説・自己説明 | 折り紙 2枚/一人 WN18(一般結果、なぜ?) WN19(ビデオ見て、解説聞いてメモ;二人でとくことの利点) | 40分 実験 13:35-13:45 一般結果なぜ? 13:45-14:00 ビデオ解説利点 14:00-14:10 WNをまとめる 14:10-14:15 | 310 | 最初に折り紙を一人2枚配る WN18 1) 課題は口頭で 2) どうやりました?2回目、やり方変わりましたか? 3) 二人でやったらどうなると思う? WN19 4) 結果のグラフ 5) ビデオを見て気づくことは? 6) 解説メモ、コメント | |
| 13 | わかったことの言語化 | 「問題を二人で解くことの利点は何ですか?」 近場の4人程度で「授業に活かす<学び合い>」スローガン 作り | グループ作業 によるまとめ | WN20 作業メモ用紙 | 15分 14:15-14:30 | 325 | KOWA writingシート 余分な紙、マーカなど | |
| 14 | 休憩 | スローガンは貼っておく | | | 10分 14:30-14:40 | 335 | | |
| 15 | 授業案作り | 教科ごとに分かれて、「今日知ったことを活用して、<学びあいのある授業>案」作り 教科ごとに代表1案を検討 発表準備 | | WN21=開智用紙 | 60分 14:40-15:40 | 395 | 部屋は回って歩いてよいのかしら? | |
| 16 | 休憩 | | | | 10分 15:40-15:50 | 335 | この間に教科代表1案をコピー | |
| 17 | 発表会 相互講評 全体講評 関根先生感想 | | | WN22 聞き取りメモ WN23 最終アンケート | 40分 15:50-16:30 | 375 | WN23に全体感想を書く欄も | |
| | 個別質問、相談、自由討論 | | | | 時間外 30分程度 16:30-17:00 | 400弱 | | |